

札幌方面の利用者が伸びているドッグラン



ドッグラン 伸びる利用者

南幌苑が開設2周年 障がい者働く場にも

【南幌】障がい者支援施設「南幌めぐみ学園」を運営する社会福祉法人南幌苑のカフェ併設ドッグラン(元町2)が開設2周年を迎えた。利用会員は約400人に達し、栗林和史理事長は「札幌方面の利用者が増えている。将来、障がい者が働ける場として有望だと手心えを感じている。法人設立30周年を記念して2018年11月に開設。人工芝敷きで遊具がそろったドッグランは入場無料。今シーズンは面積を1・3倍の342平方メートルに広げた。カレーやパスタなどのラン

チ(各500円)、ドリンク類を販売するカフェにはテラス席もある。

25日は2周年を記念し、連携している道内福祉施設が製造する犬のえさなどを全来場者に配布した。コーギーのミックスタを連れてきた札幌の女性は「これだけの施設を無料で利用できるのは魅力」と話した。利用する多くが室内犬で「体が汚れない人工芝がいい」「うちの犬は草アレルギーなので公園には行けない」などの声も聞かれた。営業日は木・日曜と祝日。

(土屋孝浩)